

ジュンジュン (李純: L? Chen)

この項目は『[リゾナントブルー-Another Versからストーリーを想像するスレ](#)』（以下、リゾスレ）に発表された小説の登場人物、ジュンジュン(李純)に関する事実を記述していきます。

モーニング娘。8期メンバー ジュンジュンについての情報をお求めの方は、適切なサイトをお探しになることを推奨します。（但し、実在のアーティストの楽曲のPVから想像した作品を投稿していくリゾスレの性質上、実在するジュンジュンに関する事実の記述が一部に存在する事を、ご了承ください）

また、一つのPVから各人が自由に想像を膨らませるというスレの特性上、ストーリー中の設定は作者・作品ごと千差万別になっています。それ故、当項目で述べる内容は、一部作品世界のみの設定等特殊なものを除いた上での「最大公約数」的なものであることを予めご了承ください。

目次

- [1.概要・人物像](#)
 - [2.他の登場人物との関係](#)
 - [3.能力](#)
 - [4.ジュンジュンが登場する作品](#)
-

1.概要・人物像

[リゾナター](#)の一員であり、(当然ながら)中国人であるという設定がほぼ基本になっている。留学生として大学に通っている描写があるものや、中華料理屋でアルバイトをしている場面が登場する作品もあるが、すべての作品世界においてそうであるとは限らない。

[まとめサイト](#)に収録された作品における初登場は [\[Mitsui \] \(01\)255](#)であるが、同作においては [リンリン](#)とともに、そこまでの1レスネタや雑談の流れの中での描かれ方を踏襲した、お笑い担当的な色合いでの端役となっている。またにも出番が描かれたのは [\[JunLin \] \(01\)487 『ソレガ仲間ッテヤツダヨ』](#) が最初であるが、同作もその後のキャラクター造形の基になったとは言い難い。

具体的な設定案が書かれなかったこともあって、その後も先輩メンバーと比較して輪郭がいまひとつ定まらなかったジュンジュンの個性が確立したのは、もうしばらく後の [\[Junjun \] \(02\)850](#) や [\[Linlin \] \(03\)306 『刃千吏護衛官 銭琳\(字幕版\)』](#) に拠るところが非常に大きいと思われる。能力に関しても、当初に登場したのは [念動力](#)であったが、これらの作品での描かれ方が魅力的だったこともあってか、自然と [獣化](#)がその後のスレにおけるメイン設定となっていっていった(獣化が解けた際に生まれたままの姿になることが理由ではないと信じたい)。

人となりについては各作者・作品ごとに様々であるが、現実世界のジュンジュンを基にした(?)包容力や慈愛の精神に満ちたものに描かれている作品が多いだろう。ただそれ以上に、バナナ好きであったり、呼び捨てタメ口キャラであったりといった、コミカル担当キャラになっている印象も強い。また、それでいて他の誰も気付いていないメンバーの心情にただ一人気付くなど、賢明で気配りができるキャラとして描かれている作品も多数見られる。どこまで本気が図りかねるナルシストキャラについては、[道重さゆみ](#)ほど定着していないためか、扱っている作品はほぼないと言っている(ブリッコキャラは多少覗いている)。

その過去について明確に描かれた作品は(各シリーズ内のものを除いて)それほどないが、[獣化](#)能力が初登場した先述の作品内で描かれていた、「[獣化能力を持った一族](#)」の出身であることは多くの作品の中で基本設定となっていると言えるかもしれない。

2.他の登場人物との関係

[リゾナター](#)サイドでは、PVでセットになっていたこともあり、(現実世界で)同期メンバーであり同じ中国人である [リンリン](#)との絡みが多い。また、ケンカネタが題材として魅力的だからか、[久住小春](#)とともにメインを務めるストーリーの作品も複数見られる。その他のメンバーとの絡み

も一応満遍なく網羅しており、1対1の絡みはさほど多くないものの印象深い作品は多い。
[ダークネス](#)サイドとの関わりはそれほどないが、(1人もしくは少人数での)戦闘を行なっている相手の多さはトップクラスと言えるかもしれない。それぞれ1作だけであったり数作ではあるものの、[中澤裕子](#)、[矢口真里](#)、[石川梨華](#)、[吉澤ひとみ](#)、[辻希美](#)、[加護亜依](#)、[紺野あさ美](#)、[藤本美貴](#)などと直接対峙をしている場面が描かれている。

[4.ジュンジュンが登場する作品](#)参照。

3.能力

主として以下の能力が設定されている。

獣化

動物に変身することのできる能力。[獣化](#)の項参照。

基本は大熊貓(パンダ)へと姿を変えているが、他のものに変身している話もある。

他のメンバーと異なり、「一族に受け継がれてきた能力」との設定が存在するのがやや異質と言えるかもしれない。

念動力(サイコキネシス)

念じるだけで対象物に対して物理的干渉を及ぼすことができる能力。[念動力](#)の項参照。作者・作品ごとに能力の性質に差異が見られる。

先述の通り最初に設定された能力だったが、[パンダ](#)の登場ですっかり印象を奪われた。とはいえ、スレが進んで後も念動力を使用する描写は見られる。

4.ジュンジュンが登場する作品

- ・ 紹介するのは一部ですのでご了承ください (左下の[+]をクリックすると本文が開きます)

